

洛北SSHだより

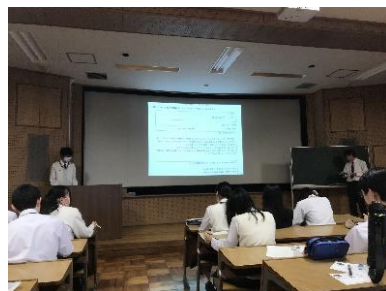
令和6年7月12日発行
第4号
総務企画部



「洛北 SSH だより」では、本校 SSH 事業の取組や様々な情報を発信しています。

1 課題探究Ⅱ 研究計画発表会

課題探究Ⅱ 研究計画発表会を5月31日(金)、6月7日(金)の2日間、本校の視聴覚教室、コモンホールの2会場に分かれて実施しました。この発表会は、「課題探究Ⅱの予備実験と本実験の間に研究計画について発表し、アドバイスをもとに研究の高度化を目指す」ことを目的に毎年実施しています。当日は、40数名の本校教職員が参加し、発表を聞いてアドバイスや質問を行いました。質疑応答の時間が短かったため、アドバイスカードも活用して、それぞれの班にアドバイスやエールを送っていただきました。また、このあとの京都府内の高校とオンラインで課題研究の計画について交流する「サイエンスプラウト」に参加することで、さらに、研究計画のブラッシュアップを目指します。



2 みやこサイエンスフェスタ

6月9日(日)に京都大学百周年記念ホールおよび国際交流ホールにおいて、スーパーサイエンスネットワーク京都校9校が集い、研究成果を交流する「みやこサイエンスフェスタ」に、本校から昨年の課題探究Ⅱで取り組んだ3チームが参加し、発表を行いました。テーマは、「音力発電で地球に sounds good! ~圧電素子の設置環境と発電量に関する研究~」、「ゼブラフィッシュ (Danio rerio) の記憶に関する研究」、「ワイセンベルグ効果を利用した粘弾性流体における架橋密度と第一法線応力差間の関係の調査」で、いずれも校内選考を突破した本校を代表するチームの発表です。3チームとも奨励賞を受賞し、今後の活動につながる発表会となりました。なお、このうちの1チームは8月に開催される SSH 生徒研究発表会に参加します。今回の発表会で得られたことをもとに、自信をもって臨んでほしいと思います。



3 サイエンスチャレンジ Dr.Christian Werner Becker Asano 氏 特別講演会

6月26日(水)に本校の視聴覚教室において、ドイツの Stuggart Media Universityの教授であり、AIやロボティクスの分野で世界的に高名な研究者である Dr. Becker-Asano 氏による特別講演会が開催されました。氏の娘の浅野葉月さんが現在1年生の文理コースに聴講生として在籍しているご縁で、今回この講演会が実施されました。アンドロイドに感情を与えるためのプログラム設計や臨床実験、「不気味の谷」を越えるアンドロイドを創造するために求められる事、機械学習(ML)の原理等、多岐に渡るトピックについて今まさに現在進行形で進んでいる研究や実験結果を交えつつ、大変わかりやすくお話いただきました。講演は氏が英語で話された内容を、葉月さんが日本語に翻訳して説明する形式で行われました。考査直前にもかかわらず50名を超える参加者があり、講演後も30分以上質疑応答が続く程、皆熱心に聞き入っており、本テーマについて関心・理解を深める素晴らしい機会となりました。



4 府立高校課題研究交流企画「サイエンスプラウト」を実施

6月17日(月)から、Microsoft Teams を活用したオンラインで研究テーマ交流企画「サイエンスプラウト」を実施しています。今年度は、8校の府立高校から93の研究テーマが投稿され、Teams 上でこれまでに254回のメッセージのやり取りが行われ、活発に意見交流を行っています。自分たちの研究テーマについての質問に答えるだけでなく、他の府立高校が取り組んでいる研究テーマに触れることで互いに刺激あい、よりよい研究を進めていくことが目的です。今回の発表を行ったチームは11月のみやびサイエンスガーデンで再び出会うことになります。それまで、それぞれ研究活動を頑張ってください!



5 数学好きの皆さん、「ラグランジュの会」を知っていますか

「ラグランジュの会」では、京都大学名誉教授の上野健爾先生による高度な数学の講義を受けることができます。大学で学ぶような専門的な内容ですが、「本質的な数学に触れたい」「難しい数学にチャレンジしたい」という生徒にはおすすめで、昨年度も中学生・高校生ともに参加希望がありました。年5回程度開催で1回 90 分の講義です。興味がある人は数学科の先生に相談してみてください。

6 京都マス・フェス2024★1st ステージ 京都・大阪マス・インターセクションに参加してみませんか

京都府では、「面白い」「興味深い」問題を web に掲載して回答を募集する「京都マス・フェス」を毎年実施しています。かつてテスト形式のコンテストをしていたなごりで、たくさん解けば優秀賞やアイデア賞がもらえますよ。

毎年、洛北生が賞をもらっています。今年は取り組みやすい問題が多いので、我こそはという生徒はチャレンジしてみてください。附属中学生もチャレンジ可です。詳細は教育委員会 HP(二次元コード\))で確認してください。

★期間：7月8日(月)13:30~ 2週間程度

★解答送付：総務企画部(藤岡先生)まで紙で提出 または web で直接提出

★解説：8月中旬からオンデマンドで動画を視聴可能。申し込みが必要なので総務企画部まで来てください。



7 高校 1,2年生対象 第2回サタデープロジェクト(9/7)の申し込みが始まりました!

第2回サタデープロジェクトの申し込みが始まりました。今回は6つの講座が開講され、そのうち4講座が理数系分野(サイエンスチャレンジ)です。申込用紙の裏面を見ると、各講座のねらいが、洛北 Step Up Matrix 上に色付きで示されています。これは、この講座に参加すると色付き部分の能力が伸びると期待されるという意味です。例えば、「発想」を強化したければ『センサープロジェクト』『構造主義的に読んでみる Z(講師は川口校長先生!)』、楽しくまんべんなく力をつけたいなら『ボードゲームで数学を学ぼう』を受講してみる。年度末には、参加した企画と達成できた Step の一覧をリフレクションシートの形にして皆さん、生徒一人ひとりにお配りします。

画一的な力の育成ではない、自分で自分の力を高めるデザインができる洛北高校イチオシのこの企画。締め切りは7月18日(木)、担任の先生に提出してください。人気企画は、早い者勝ちですよ! 保護者の方もよろしければお子様と一緒にご参加ください(定員オーバーの場合は見学になることもあります)。